

お宝発見！びっくり仰天！

先生みつけた？



古屋 秀隆

FURUYA, Hidetaka

生物科学専攻 教授〔動物形態学〕

Character Point !!

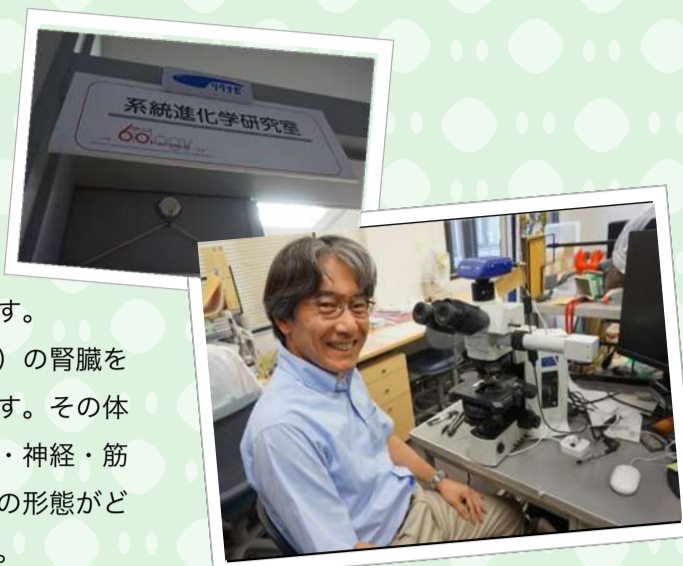
学生時代の部活：野外研究部

好きな音楽：パッパやシューベルトの宗教音楽

趣味：山歩き / アマチュア無線 / ギター / 読書

古屋研の研究紹介

二ハイチュウという生物の形態・発生・進化を調べています。二ハイチュウ類とは、底棲の頭足類（タコ類、コウイカ類）の腎臓を包む腎嚢の内部を生活の場とする、数ミリの多細胞動物です。その体は多細胞動物の中で最も少ない細胞数でつくられ、消化管・神経・筋肉などの諸器官が見られません。この単純な二ハイチュウの形態がどのような歴史を持ち、現在に至ったのかを追求しています。詳しくは「[古屋研ホームページ](#)」をご覧ください！



INTERVIEW 突撃！インタビュー



Q. なぜこの分野に進んだのですか？

物心がつく頃から自然に惹かれ、心は常に自然の方に向いていました。そのうち、二ハイチュウに出会い、研究することとなりました。二ハイチュウに色は無いですが、繊毛が生えていて非常に綺麗です。泳いでいる姿はエレガントで、吸い込まれるような感じがします。尿の中にいてどうい生活をしているのか、どうやって種分化しているのかに興味を持ち、研究に執着しました。

Q. 阪大のキャンパスにはどのような生物がいますか？

豊中キャンパスにはキツネがいますね。それと案外、鳥や爬虫類がいる。アオダイショウやシマヘビなどもあります。哺乳類だと、タヌキ、アナグマ、アライグマ、イタチ、ネズミもいますね。植物は樹木だけでも70~80種、草本含めると150種を超えます。それだけ植生豊かだと昆虫も多いですね。あとはホタルが生き残っているのが珍しいです。キャンパス内でも、日本は非常に特殊で種が多様であることを実感できますね。



Q. 学生のうちにしておくべき冒険とは？

自分にとって冒険や挑戦だと感じることを経験するのが良いと思います。例えば、海外に行って新しい挑戦をするのは素晴らしいでしょう。全く異なる文化の中に身を置くと、本当に驚かされます。比較するものがなければ気づかないことがたくさんありますからね。ですので、自分が何者なのかを理解するためには、異なる文化を経験することが大切です。そういった経験を若いうちにしておくことには、とても価値があると思います。



SCHEDULE とある1日のスケジュール

先生の本棚！

プレパラート作成の作業場所！

- 07:00 起床、家事
- 09:30 大学到着
- 会議、授業、セミナー、メール対応
- 11:30 キャンパスの生物観察と昼食
- 12:30 会議、授業、セミナー、メール対応
- 15:00 コーヒーブレイク、研究・論文執筆、大学院生との語り
- 20:00 大学を出る
- 22:00 家事（食器洗いや洗濯）、子供とお酒を飲む
- 00:30 就寝

MY FAVORITE 先生ってどんな人？ 先生のお宝を調査！



思い出のつまった「手紙」！

大学院生時代、先生の論文を見た海外の研究者の方からもらった手紙で、先生の研究者への道を開いてくれた物だとか！海を越えた素敵な繋がりに感動しました。

MESSAGE 先生から皆さまへ



世界は広く美しいことを知って欲しいと思っています。私は学位を取得後、アメリカに留学したのですが、海外の人々と接する中で、人間にある共通の美しいものにあらためて気づかされました。みなさんも美しいものを見つけて下さい。



インタビュー動画 Youtube にて公開中！



編集後記

学生時代のことやアメリカ留学のことなど、先生のこれまでの経験を聞くことができ、大変楽しい取材でした！

先生の部屋には色々なジャンルのものが混在していて面白かった！専門分野とは全く異なるところに興味を持つことで先生は広い視野を手に入れているのだと感じました。

終始いきいきとお話をされていて、先生の生物や自然に対する好奇心が伝わってきました！



化学科 編集者 M.A



生物科学科 編集者 A.R



生物科学科 編集者 O.M

Thank you for reading...